

## 特別支援教育に係る集合指導訪問（管理職部会）パート1

令和5年度学校教育指導方針「自立と社会参加に向けた特別支援教育の推進」において、「一人一人の障害の状態等に応じた指導の充実」が示されています。「全教職員の取組による特別支援教育の充実」のためにご尽力いただき、ありがとうございます。

管理職の先生方のリーダーシップの下、特別支援教育コーディネーター等を中心として校内支援体制を強化し、校内支援委員会の計画的・継続的な実施、定期的に学びの場の見直しを推進していただきました。また、特別支援教育巡回相談（特別支援教育専門家派遣）等の活用も増えており、積極的に外部との連携を図っていただいているところです。

〈ポイント〉校内支援委員会においては、特別支援学級等への措置変更だけでなく、校内にて配慮を要するすべての子の実態を把握し、通常の学級がよいのか、通級による指導がよいのか等の学びの場の検討をする必要があります。

また、「特別支援学級における指導の充実」について、自立活動の指導の充実にも積極的に取り組んでいただきました。特別支援学級教育課程編成からも特別支援学級等において、自立活動の時間を設定して指導していただいているところです。

〈ポイント〉特別支援学級等での自立活動の時間だけで指導するのではなく、全ての教員が障害に関する知識や配慮等についての正しい理解と認識を深め、障害のある児童生徒に対する組織的な対応が必要となります。

### ○参考資料

- ①「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」文部科学省初等中等教育局特別支援教育課
- ②「障害のある子供のための就学事務の手引き（令和5年4月改訂）」茨城県教育委員会
- ③「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼児部・小学部・中学部）」文部科学省

障害のある子供の「教育的ニーズ」を整理するための考え方や、就学先の学校や学びの場を判断する際に重視すべきことなど、就学をはじめとする必要な支援を行う際の基本的な考え方について示されています。

学びの場の変更の手續に伴う手續・連絡の流れ、提出書類の作成について示されたものになります。

自立活動の意義と指導の基本、自立活動の目標、内容等について示されたものになります。



一人一人の教育的ニーズに応じた児童生徒の適切な学びの場の決定や見直しの際に活用できる資料となりますので、職員室等で先生方が手に取れるように準備されるとよいです。

※すべてインターネット上からダウンロード可能です。(②は教育情報ネットワークポータル▶文書共有▶09\_特別支援教育課)

## 特別支援教育に係る集合指導訪問（管理職部会）パート2

本年度も新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、管理職（校長先生）を対象にオンデマンド研修を実施いたしました。動画での研修となり、参集での授業参観や研究協議を行うことができませんでした。今後の実施については、働き方改革及び感染状況等を鑑み、検討してまいります。

事後アンケートに答えていただいた内容について回答させていただきます。今後の研修等にご活用ください。

令和5年度  
特別支援教育に係る学校訪問  
(集合指導訪問)  
管理職（校長）部会資料



茨城県水戸教育事務所

### ●感想のまとめ

- 自立活動・分かりやすい授業の工夫等、具体的な事例を知りたいです。
- 発達障害のある児童生徒への対応策について、事例を基に教えていただきたい。
  - 国立特別支援教育総合研究所の動画資料をぜひご活用ください。  
[インクルDB（インクルーシブ教育システム構築支援データベース）](#)
- 特別支援学校の学校公開等を参観できる機会があるとありがたいです。
  - 現在、特別支援学校への就学のニーズも増えております。特別支援学校ごとに学校見学会、オープンスクール等を実施しております。対象は、保護者や中学3年生担任など様々なため、学校に問い合わせいただくとよいです。また、体験入学日も設定しておりますので、お子さんや保護者が直接学校を見学できる機会となりますので、特別支援学校からの案内等を確認ください。
- 繰り返し確認できるように、YouTube で使用された動画（資料）が、配付されるとありがたいです。必要に応じて関係する職員に動画（資料）を渡したり、校内研修で活用したりしたいです。
  - 小・中・高等学校特別支援教育実践力向上セミナー動画をご活用ください。15 分間程度の動画となっておりますので、ミニ研修等にも活用ください。オンデマンド研修につきましては、以下の場所に掲載されています。※掲載場所：教育情報ネットワーク>文書共有>09 特別支援教育課
- 現在、小美玉市において「巡回型」通級指導実践研究が行われているが、その成果と課題等についての研修報告があるとありがたいと思います。
  - 令和6年2月27日（火）に「巡回型」通級指導実践研究 第4回地域別運営協議会をオンラインにて実施します。本年度の事業の成果や課題について共有いたします。令和6年1月23日付け水教第1084号を参照ください。
- 特別支援教育のノウハウをもち特別支援学級を担任できる職員を育てることは喫緊の課題だと感じています。
  - 茨城県の特別支援教育の事業・取組及び市町村教育委員会と連携しながら進めていきます。また、主体的に学ぶ研修資料として、国立特別支援教育総合研究所の動画資料をご活用ください。



インクルDB

[インターネットによる講義配信 NISE 学びラボ](#)

